

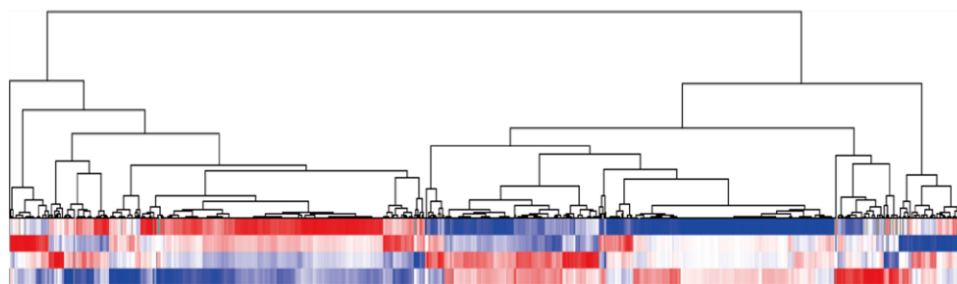
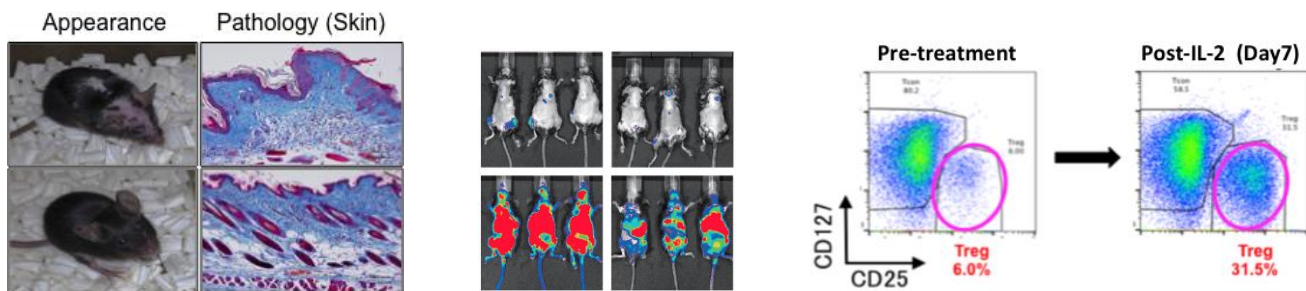
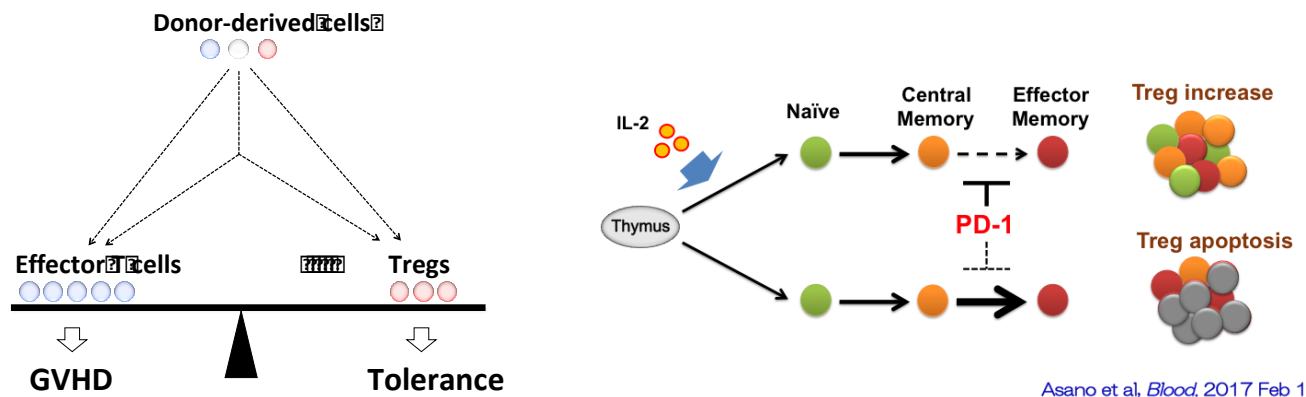
血液グループ基礎研究

移植免疫研究グループ

造血幹細胞移植後の免疫再構築、この過程で生じる GVHD/GVL 反応は、個体内で多くの細胞が織り成す壮大なオーケストラです。全体として美しいハーモニーを奏でてもらえるように、ひとつひとつの免疫現象を丁寧に、ときに大胆に理解し、その制御法を探ることは、患者さんの安全な移植医療に繋がります。私たちは、臨床医の立場で得られる着眼や発想をもとに、「真に臨床の向上に資する基礎研究」を目指し、チームで日夜頑張っています。

主な研究テーマ

- ・GVHDとGVL: 基礎メカニズムに基づく制御法の探索
- ・臨床移植における実践的な免疫モニタリング系の確立
- ・制御性 T 細胞を活用する新規免疫制御療法の臨床開発



※ 新しい研究メンバーを随時募集中です。臨床の疑問を実験的に明らかにしたい先生、大発明をしたい先生、正直あまり研究に興味はないが少しやってみたい先生、いつでも遠慮なくご連絡ください。Comedical の方、学生の方もお相談ください。

連絡先: 松岡賢市 k-matsu@md.okayama-u.ac.jp

○アルバム



メンバーが集まっての全体ミーティングです。少しまじめにやっています。





住居先生、ノーベル賞！？への最初の一步。手つきはすでに大研究者。



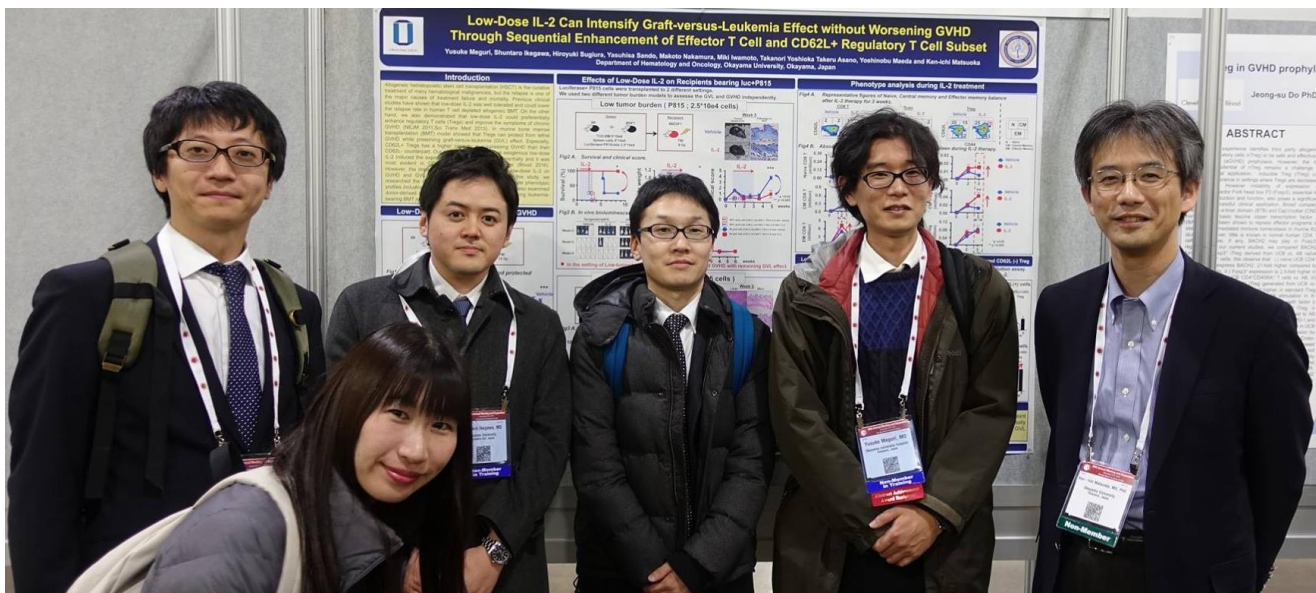
岸さん、ご卒業おめでとうございます！ 艶やかなお姿。



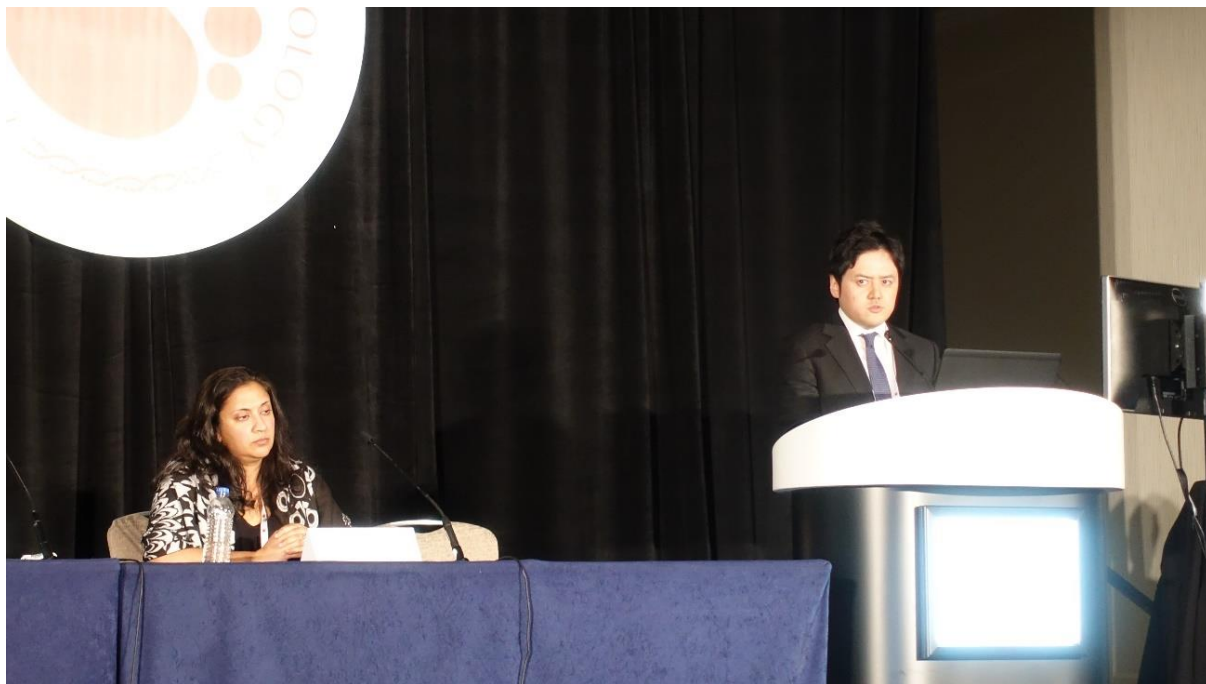
AMED の支援を受けて主管した難治性慢性 GVHD に対する低用量 IL-2 医師主導治験 (P I / II a) : 参加いただいた全国の施設の先生方との報告会。治験は 2018 年までに無事完走。皆さま、本当にありがとうございました。



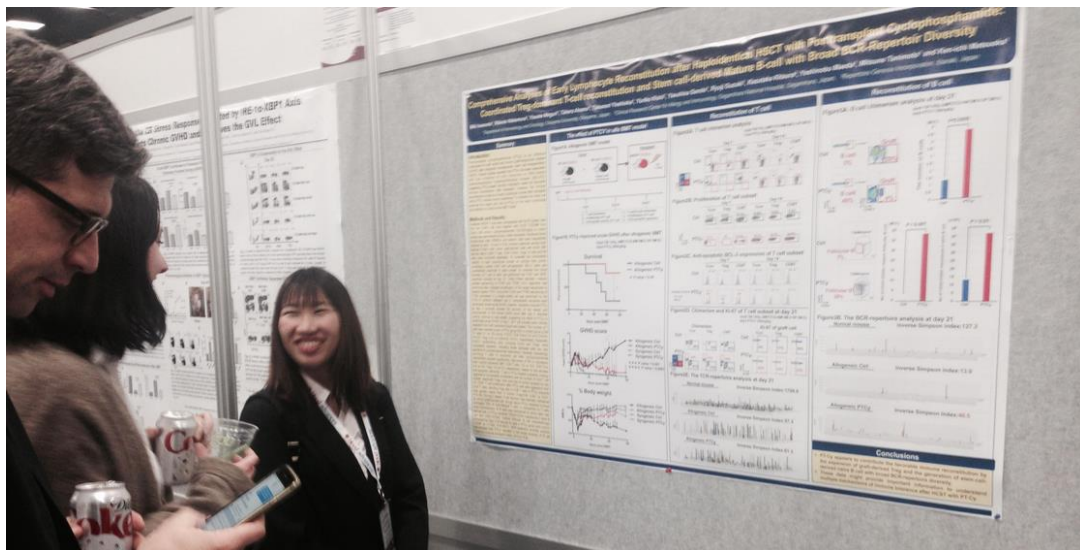
ハーバード大学の Jerome Ritz 教授を岡山に招いて。松岡の大ボスです。



廻先生 ASH 優秀ポスター賞。ASH はラボの大事な年間行事になりました。



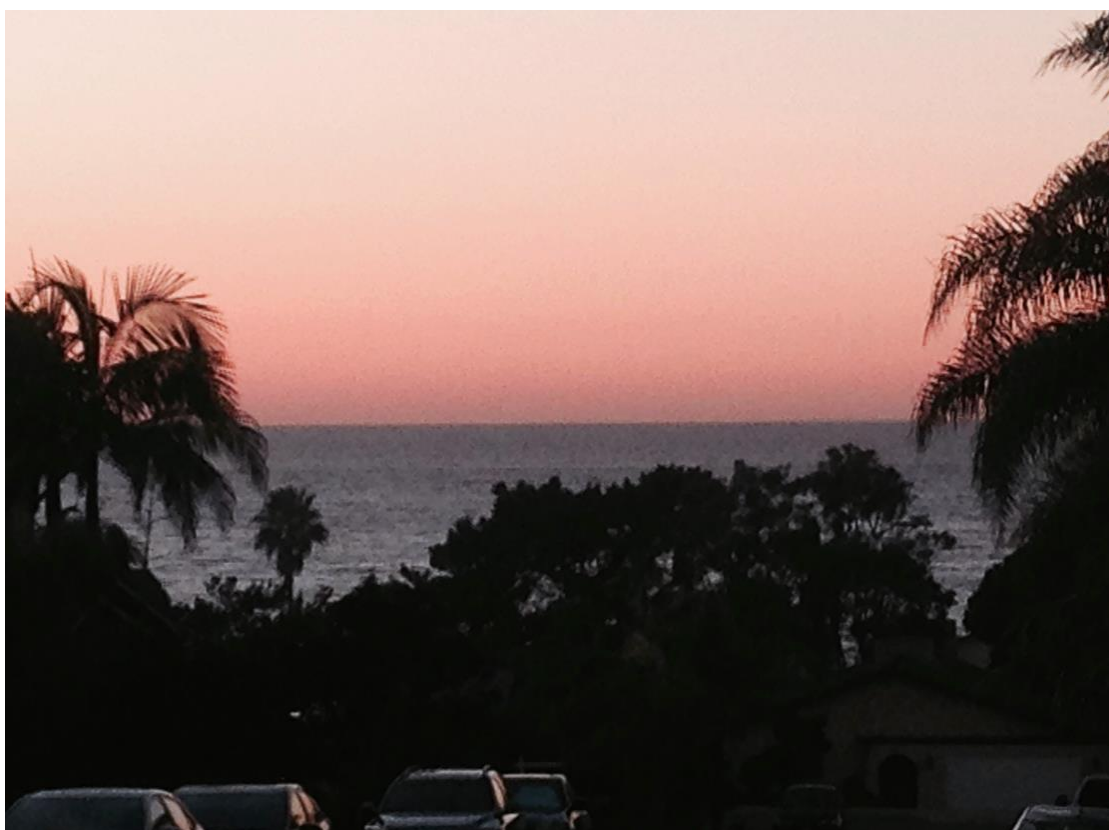
ASH 口演発表！ この緊張感は一生の思い出。
(左下:吉岡先生、右下:浅野先生、上:池川先生)



ASH ポスター発表。保健学科の岩本さん、英語での質疑応答も完璧です。







ASH では毎年チームで一軒家を借ります。しっかり勉強して、発表して、BBQ。ちょっとした留学生活です。